



# キラッと☆ちゃ・ちゃ・ちゃんねる



このコーナーでは毎月、町の子育て支援情報など、「子ども」に関する情報をお伝えしています。

## 子育てに役立つペアトレ知識①

皆さんは、「ペアレント・トレーニング」(以下ペアトレ)という言葉を知っていますか。ペアトレには、どんな子どもにも応用できる子育てのヒントがたくさん詰まっています。今回からシリーズで、ペアトレの内容について抜粋して紹介します。



### 考えてみよう

もうすぐ夕ご飯を食べ始める時間です。お母さんは、食事の準備をしながら、遊んでいるA君に「飯だから片付けなさい」と声を掛けますが、A君が片付けを始める気配はありません。こんなとき、あなたならどうしますか。

### ◎子どもはみんな、

#### 親から「注目」されたい

私たちは誰も、人に注目されたいと願っています。努力して家事や仕事をやり遂げたとき、「おいしい」「ありがと」「いい出来だ」とほめられれば、報われた、また頑張ろうと感じるでしょう。でも、やって当たり前にばかりに無視されたり、努力に気づいてもらえなかったりしたら、どうでしょうか。だんだん、努力する気になれなくなってしまうよね。

大人でもそんなのですから、子どもであればなおさらです。子どもはいつでも親の注目を求めています。親が子どものある行動に注目すると、子どもは注目してもらおうとして、いつまでも頻繁にその行動をとるようになります。

### 試してみよう

ペアトレでは、親が持っている「注目」のパワーを使って、好ましい行動を増やしていきます。

A君が、「片付けなさい」と言われた後、ブツブツ言いながらもおもちゃを1個箱に投げ入れたとします。いつもは「なんで投げるの!」と叱ってしまうところですが、試しに「お片付けるんだね。お母さんも手伝うね」と近くに行くと、声を掛けてみましょう。A君はどんな反応をするでしょうか。

「投げた」ところではなく、「片付けようとした」ところに注目することで、「片付けようとする」という行動が増えることになるのです。

次回は、子どもへの接し方のコツについてお伝えします。

#### 引用参考文献

「子どもの「困った行動」はお母さん次第で変えられる!子育てが楽しくラクになる。ペアレント・トレーニング」上林靖子・庄司敦子・森田美加 著(株式会社PHP研究所)

【担当・問合せ】 こども課 こども室 ☎672-2111 内線3130

## ごみ減量・分別説明会を開催しませんか? ~「分別」や「資源」をもっと身近に~



町では家庭系ごみの減量に向け、各地区での説明会や勉強会を開催しています。昨年度は地区公民館事業や、子ども会の行事との連携など、さまざまな形式で開催しました。

年齢のほか、地区によっても「ごみ」への関心はさまざまです。説明会の内容は、皆さんの関心のある分野から自由に選べるように、いくつかのメニューを準備しています。例えば、町のごみ処理の現状についての説明を受けたり、ゲーム形式で資源の分別の仕方を実践したりするほか、小型家電や食品ロスなど新しい分野についての勉強会などがあります。

時間も参加者に合わせて、30分程度から、自由に設定することができます。

マイバッグやマイボトルを持ち歩くなど、一人一人の日々の小さな取り組みが大きな成果につながります。

地域や職場、子ども会など、皆さんで「ごみ」や「資源」について考え、「行動」へとつなげていきましょう。ごみ減量・分別説明会の開催を希望する人は、気軽に問い合わせください。

町の家庭系ごみの削減目標  
1人1日当たり570g  
(平成32年度まで)

平成29年度……595g  
目標達成までは、1人1日あたり25gの減量が必要です。

- ・レジ袋1枚削減で10gの減量
- ・ペットボトル1本削減で15gの減量



説明会では、さまざまなテキストを使って、分りやすくごみの現状や減量について学びます

実践型のゲーム形式で分別の仕方を学ぶ子どもたち

【問合せ】環境課 生活環境室 ☎672-2111 内線2261